

日本政府は、去る3月22日に沖縄県知事に対して辺野古新基地建設のための「公有水面埋め立ての承認申請」を行いました。辺野古の海を埋め立てて、米軍基地を新たに作るつもりです。

建設反対の名護市長の当選、沖縄県議会での全会一致での建設反対決議、9万人参加の県内移設反対の県民大会の開催、そして今年1月の41全市町村長と市町村議会議長の連名による県内移設の断念を求める建白書の安倍総理への提出——と、沖縄県民は、辺野古への基地建設に対して「オール沖縄」で反対してきました。世論調査でも県民80%以上が反対です。

このような沖縄県民の県内移設に反対する県民の総意を踏みにじり、基地建設を強行しようとする日本政府を私たちは許すことは出来ません。

今、日本政府は沖縄県知事に対してさまざまな圧力をかけて、「公有水面の埋め立ての承認」を迫っています。今年の12月～来年1月に県知事が判断すると想定されています。

●迫ってきている！ 辺野古基地建設の着工

辺野古への基地建設を許さない！ オスプレイ の沖縄配備撤回！ 12・4集会

12月4日(水)

@全水道会館4階大会議室

沖縄からの訴え:

山城博治さん

沖縄平和運動センター議長



この辺野古の海を
埋め立てるって？

●オスプレイの沖縄配備撤回を！

日米両政府は、去年の10月と

▲政府による埋め立て申請書から。赤い線が埋め立て予定の部分

今年8月に「オール沖縄」の配備反対の声を踏みにじり、オスプレイを強行配備しました。

強行配備から1年。オスプレイは日米合意に違反して、わがもの顔で昼夜を問わず住宅地、学校、病院の上空を飛び回っています。県民は毎日墜落の恐怖に脅えています。

オスプレイは今年の6月と8月に米国で墜落しました。沖縄でも9月に着陸装置の不具合で1時間近く着陸できないトラブルが起こっています。一步間違えれば大惨事になる事態でした。

●今こそ「辺野古新基地建設を許さない！ オスプレイ配備撤回！」の声

私たちは、辺野古の闘いが最大の山場を迎え、仲井真沖縄県知事あて「埋め立て承認申請」の不承認を要請する他、防衛大臣あて抗議の署名活動を行っています。沖縄と連帯して闘いを大きく作り上げるため、来たる12月4日に下記の通り集会を行います。多くの皆さんの参加を訴えます。

■日時：12月4日(水) 午後6時30分開始

■会場：全水道会館4階大会議室

(JR水道橋駅東口(お茶の水寄り)下車、徒歩2分/都営地下鉄三田線水道橋駅下車、A1出口1分)

■沖縄からの訴え：山城博治さん(沖縄平和運動センター議長)

■会場費：500円

主催

フォーラム・平和・人権・環境(連絡先TEL:03-5289-8222)

沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック(連絡先TEL:090-3910-4140)